

網膜対応検査⑤ (赤フィルタ検査: diplopia test)

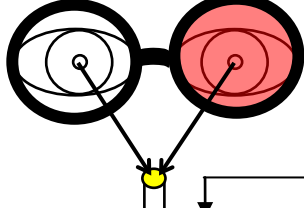


目的 両眼視の把握と網膜対応の把握

準備物 検眼枠・赤ガラス・光源

分離方法 赤ガラス **検査方法** F対P

例) 左眼に赤ガラスを装着



通常、被検者の固視眼に赤ガラスを装着させ光源を(場合によってはマドックス正切尺の前で)注視させる



固視眼とのバランスをとる為であり、薄い赤ガラスの場合非固視眼に、濃い場合固視眼に装着させる場合が多い。

光の見え方を聞く
・光の数はいくつか?

光が1つ

光が2つ

* 左眼に赤ガラスを装用の場合

赤と白色の混合色が見える	赤色のみ見える	交互に見える	白色のみ見える

赤色と白色の2色が見える			

交叉性複視 同側性複視 上下複視 上下水平複視

例) 交叉性複視だった!

要するに他覚的斜視角分すなわち斜視眼の中心窩に光源を移動させる。

赤ガラス上から SPCT にて顕性の偏位量を中和させるプリズムを装着させる

又は応用)

正切尺での偏位量を入れても良い。ようするに自覚的斜視角分だよ。

非固視眼前でプリズム度を変化させて2色を1つにする

2色が依然見える! (通常間隔は減少し逆転)	赤と白色の混合色で1つになった!

赤と白色の混合色で1つになった!

赤ガラス上からカバーテストをすると顕性の動きがあるか?

YES
NO
SA=OAということ。

もし対応点がPとFとの間になければ背理性複視の増加又は同側性又は交叉性がそのまま幅が縮小するがそれは例外。

SA≠OAということ。

このルートは理論上、応用からのみ。

NO
赤ガラス上からカバーテストをすると顕性の動きがあるか?
YES

* 両眼中心固視とする

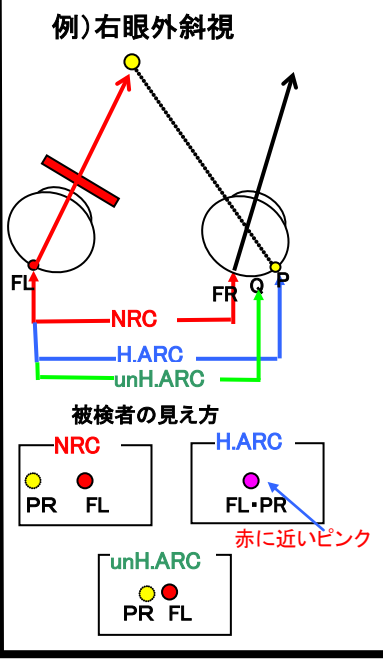
正常対応 (正位又は融像力の強い斜位)	調和性異常対応 (斜視)	交代固視 又は 対応欠如	消えた色の眼の抑制 又は 対応欠如
---------------------	--------------	--------------	-------------------

この場合、光源を見る為眼球は動くはず。

結果・記載例)

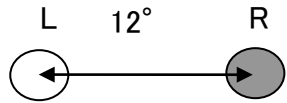
赤フィルタ試験 左眼に赤ガラス装着 交叉性複視	中和プリズムにて融像(+) 顕性偏位(-)	正常対応右眼外斜視 (R-XT NRC)
-----------------------------------	--------------------------	----------------------

自分の結果を書いておこう!



赤フィルタ検査のシミュレーション課題

右眼 赤ガラス 左眼 20△Base in 装用した場合



〇〇性複視 理由

対応の判定とその理由